



f330s

ドライブレコーダー
ユーザーマニュアル

目次

このガイドについて	3
FCC 声明	3
WEEE 指令	4
CE 規制の通知	4
バッテリー警告	4
設置における注意	5
使用上のご注意	5
1 はじめに	6
1.1 特長	6
1.2 パッケージの内容	6
1.3 製品の概要	7
2 ご使用の準備	8
2.1 メモリーカードの挿入	8
2.2 車内への設置	9
2.2.1 フロントガラスへの取り付け	9
2.2.2 機器の位置調整	10
2.3 電源への接続	11
2.4 ステータス表示	12
2.5 機器の電源オン/オフ	13

2.5.1	自動電源オン/オフ	13
2.5.2	手動電源オン/オフと再起動	13
2.5.2.1	手動電源オン	13
2.5.2.2	手動電源オフ	14
2.5.2.3	本機の再起動	14
2.6	初期設定	15
2.6.1	日付と時間の設定	15
3	ドライブレコーダーの使用	16
3.1	ビデオ録画	16
3.1.1	運転中のビデオ録画	16
3.1.2	緊急録画	16
3.1.3	録画画面	17
3.2	ファイル再生	18
3.2.1	再生画面	19
3.2.2	ファイルの削除	20
4	メインメニュー	21
4.1	メニューの使用	21
4.2	メニュー項目	22
5	ソフトウェアのインストール	25
6	仕様	26

このガイドについて

ユーザーガイドの正確性には万全を期していますが、内容に一切の誤りがないという保証はありません。また、製品の改良などにより、仕様などの内容が若干異なる場合があります。

FCC声明

本機は、FCC規則第15章に定められたクラスB デジタルビデオカメラに関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、適合が認定されています。これらの規制要件は、一般住居での使用に際して有害な干渉を適切な範囲で防止することを目的としています。本機は電磁波を発生、使用し、外部に放射することがあります。取扱説明書に従わず設置および使用された場合は、無線通信に電波妨害を引き起こす可能性があります。しかしながら、この場合でなくても、特定の設置状況において電波障害を起こさないという保証はありません。本機の電源を切ったり入れたりすることで、ラジオやテレビの受信に対する干渉を起こしていることが判明した場合には、ユーザーは以下に示す手段のいずれかもしくは複数を用いて干渉を改善することが望めます。

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える
- 本機と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されている回路とは別の電源回路に本機を接続する
- 取扱店または技術者に相談する

本機はFCC規則第15章に準拠しています。本機の動作には、次の二つの条件を満たす必要があります：①有害なノイズを発生させないこと。②誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

FCC注意事項：コンプライアンスに責任を負う者によって承認されていない変更もしくは改造を行った場合、本機を使用するためのユーザーの権限が無効になります。

※FCC（Federal Communications Commission：連邦通信委員会）は、アメリカ合衆国の放送通信事業の規制監督を行う機関です。

WEEE指令

EUにおける一般家庭ユーザーによる電気・電子機器およびバッテリーの廃棄に関して



製品または梱包物にある左記のマークは、当該製品を家庭ごみとして廃棄できないことを示しています。電気・電子機器およびバッテリーを廃棄する際は、適切な回収計画に従って取り扱わなければなりません。本機のリサイクルに関する詳細は、お住まいの市町村またはお近くの家庭ごみ廃棄物処理業者にお問い合わせください。資源の再利用によって天然資源を保全し、人の健康と環境を保護する方法でリサイクルされます。

※WEEE指令（Waste Electrical and Electronic Equipment Directive：電気・電子機器の廃棄に関する欧州議会及び理事会指令）は電気・電子製品の廃棄に関する欧州連合の指令です。

CE規制の通知

本製品は、低電圧指令2014/35/EU、電磁両立性指令2014/30/EU、電池指令2006/66/EC、及び有害物質使用制限指令2011/65/ECで求められる要求事項に適合しております。

バッテリー警告

- ❖ 常に付属のシステムを使用して充電してください。バッテリーを不適切に取り扱くと、爆発を招く恐れがあります。
- ❖ バッテリーを分解したり、穴を開けたり、ショートさせたりしないでください。
- ❖ バッテリーはお子様の手の届かない所に保管してください。
- ❖ バッテリーは絶対に火気に投じないでください。爆発することがあります。
- ❖ 使用済みバッテリーの廃棄は、地方条例を順守してください。
- ❖ **バッテリーの交換は決して自分で行わないでください。**

設置における注意

1. 最大に広角の風景を録画できるようにするため、本機はバックミラーの近くに設置してください。
2. 雨の場合もクリアな録画ができるよう、レンズは必ずワイパーのワイプ範囲内にあるように設置してください。
3. 指でレンズに触れないでください。指の脂がレンズに残り、不明瞭なビデオ映像や静止画の原因となります。レンズは定期的にお手入れしてください。
4. 本機をカラーフィルム装着のガラスに設置しないでください。カラーフィルムが損傷する恐れがあります。
5. 本機は、カラーフィルムに妨げられない場所に設置してください。

使用上のご注意

- ❖ 付属のシステムを使用して充電してください。
- ❖ 地域の法律と車両安全考慮事項に基づき、運転中は本機を操作しないでください。
- ❖ 時刻と日付を正しく設定してから本機をご利用ください。
- ❖ 本機は適用される法律の範囲内で、非営利の目的にご使用ください。弊社は本機及び付属ソフトウェアのご使用中に発生した、いかなるデータの損失に対しても責任を負いません。
- ❖ 使用中、本機は熱を持ちますが、これは正常な状態です。
- ❖ 本機の不適切な使用または操作は、本機または付属品の損傷の原因となり、保証の適応外となります。
- ❖ ユーザーによる分解は絶対に行わないでください。

本機及び付属ソフトのご使用開始により、上記の通知やご注意に同意されたものとさせていただきます。

1 はじめに

弊社のドライブレコーダーをお買い上げいただきありがとうございます。本機は運転中に、リアルタイムでビデオとオーディオの録画・録音ができるように設計されています。

1.1 特長

- Full HD (1920×1080), 30fps、またはHD (1280×720), 60fps
- 2.4インチ LCDカラーモニター
- 140° 広角レンズ
- 動体検知
- Gセンサーの自動緊急録画

1.2 パッケージの内容

パッケージには次のアイテムが入っています。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。

ドライブレコーダー



ブラケット



CD-ROM



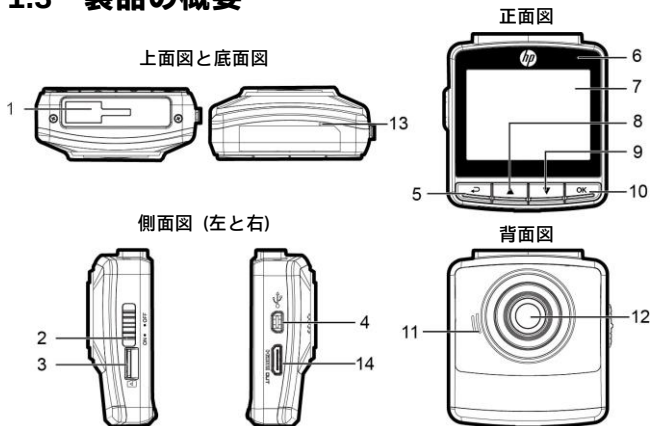
クイックスタートガイド



カーアダプター



1.3 製品の概要



番号	項目
1	ブラケットソケット
2	[電源]スイッチ
3	メモリーカードスロット
4	USB コネクター
5	[戻る]ボタン(↶)
6	LED インジケーター
7	LCD カラーモニター

番号	項目
8	[上]ボタン(▲)
9	[下]ボタン(▼)
10	[入力]ボタン(OK)
11	スピーカー
12	広角レンズ
13	内蔵マイク
14	HDMI コネクター

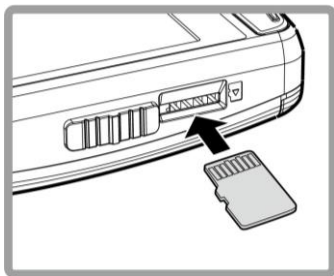
注意:

本機を操作するには、画面のガイドアイコンに従って、対応するボタン (5,8,9,10) を押します。

2 ご使用の準備

2.1 メモリーカードの挿入

メモリーカードの金色の端子が本機のモニター側に向くように挿入し、カチッと音がして、所定の位置に収まるまでメモリーカードを押します。



メモリーカードの取り外し

メモリーカードを押し込むと、カードがスロットから外れて出てきます。

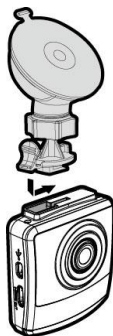
注意:

1. 本機の電源がオンになっている時は、メモリーカードの取り外しまたは挿入をしないでください。これにより、メモリーカード及びデータが損傷することがあります。
2. Class 6以上の定格のmicro SDカード (最大32GB) を使用してください。
3. 初めて使用する時はmicro SDカードをフォーマットしてください。
4. メモリーカードを取り外す時、カードが飛び出て紛失する可能性があるので注意してください。カードを簡単に取り外せるように、メモリスロットにはバネが入っています。

2.2 車内への設置

2.2.1 フロントガラスへの取り付け

1. ブラケットを本機上部のブラケットソケットに取り付けます。カチッという音が聞こえるまで押します。
2. ブラケットを取り付ける前に、フロントガラスとブラケットの吸盤の汚れを取ってください。
3. ブラケットのヘッドのレバーを引き、フロントガラスに吸盤をしっかり押し当て、レバーを戻します。ブラケットが所定の位置で固定されていることを確認します。

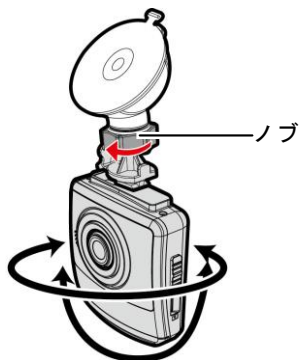


注意:

本機をカラーフィルムを装着したガラスに設置しないでください。カラーフィルムが損傷する恐れがあります。

2.2.2 機器の位置調整

1. ノブを緩め、本機の位置を調整します。



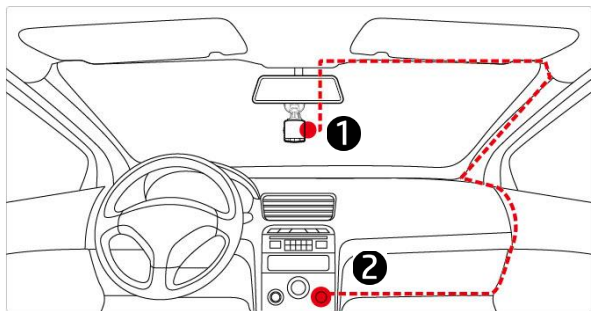
2. ノブを締め、本機が所定の位置で固定されていることを確認します。

注意:

本機はバックミラー近く、フロントガラスの中心に取り付けると、最適な視界が得られます。

2.3 電源への接続

付属のカーアダプターを使用して電源供給し、内蔵バッテリーを充電します。



1. カーアダプターのミニUSB端子を本機のUSBコネクタに接続します。(USBポート入力: DC 5V / 1A)
2. カーアダプターのシガープラグを車両のシガーライターソケットに差し込みます。自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。(車両充電器入力: DC 12 / 24V)

2.4 ステータス表示

バッテリーステータス

アイコン	説明
	バッテリーは充電済です
	バッテリーは2/3残っています
	バッテリーは1/3残っています
	バッテリーの残量がありません
	バッテリーは充電中です
	カーアダプターから電源を供給しています バッテリーは充電済です

注意:

周囲温度が45℃以上になってもカーアダプターは電源を供給できますが、リチウムイオンバッテリーは充電できなくなります。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、故障ではありません。

LEDインジケーター

ステータス	LEDインジケーターの色
電源オフ	LEDオフ
電源オン、バッテリー充電中	赤
電源オン、バッテリー充電済	緑
録画中	赤点滅

※上記、電源オンとは録画中以外の状態を示します。

2.5 機器の電源オン/オフ

2.5.1 自動電源オン/オフ

車両のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。電源が入ると、自動的に録画を開始します。

車両のエンジンが停止すると、本機は自動的に録画を保存し、10秒以内に電源がオフになります。

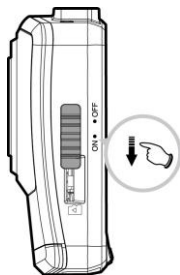
注意:

自動電源オン/オフは、電源がシガーライターソケットに接続されていることを前提とします。

2.5.2 手動電源オン/オフと再起動

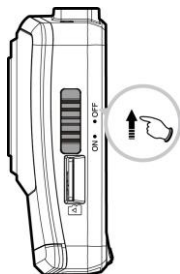
2.5.2.1 手動電源オン

メモリーカードスロットが1/4程度隠れて止まる位置まで[電源]スイッチをスライドします。



2.5.2.2 手動電源オフ

メモリーカードスロットがすべて見えて止まる位置まで**[電源]**スイッチをスライドします。終了動作が始まります。終了中は電源を入れな
いください。録画ファイルが壊れることがあります。



2.5.2.3 本機の再起動

本機が通常どおりに機能しなくなった場合は再起動します。メモリーカードスロットがすべて見えて止まる位置まで**[電源]**スイッチをスライドします。8秒後、再度電源を入れます。

2.6 初期設定

本機を使用する前に、正確な日付と時間を設定することをおすすめします。

2.6.1 日付と時間の設定

正しい日付と時間を設定するには、以下の手順に従ってください。

1.  ボタンを押してメインメニューに入ります。
2.  /  ボタンを押して【日時】を選択し、OKボタンを押します。
3.  /  ボタンを押して、数値を調整した後、OKボタンを押して別の項目に移動します。
4. 日付と時間の設定が完了するまで、ステップ3を繰り返します。最後にOKボタンを押して設定を確定します。



注意:

ビデオファイルの録画日時を正確にするために、バッテリーが切れた時や、7日間以上使用していない時は、日時を再設定してください。

3 ドライブレコーダーの使用

3.1 ビデオ録画

3.1.1 運転中のビデオ録画

自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入り録画を開始します。エンジンが停止すると、録画が自動的に停止します。

注意:

1. 車両によっては、エンジンが切れても録画が継続することがあります。一部の車両モデルでは、シガーライターソケットに常時電力が供給されているため、本機の自動電源オン/オフが機能しません。この問題を回避するには、次のいずれかを行います。
 - ・ご利用の車両モデルで可能であれば、シガーライターソケットのオン/オフを手動で切り替えます。または、本機の[電源]スイッチによりオン/オフを行います。
 - ・本機をオンにするには、手動で電源アダプターをソケットに接続し、オフにするにはソケットから外します。
2. ビデオファイルを3分または5分の長さで保存するように設定できます。(4.2参照)。
3. 本機はメモリーカードに録画を保存します。メモリーカードの容量が上限に達した場合、メモリーカードにある最も古いファイルが上書きされます。

3.1.2 緊急録画

通常のビデオ録画中に、○Kボタンを押して緊急録画モードを開始します。直後に「緊急録画」メッセージが画面の左上に表示されます。録画されたファイルは上書きされることなく保護されます。

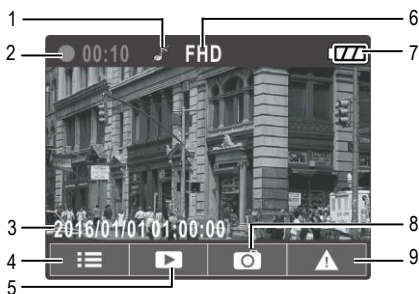
※メニューを選ぶか、再生を選ぶことにより、録画を停止します。



注意:

1. Gセンサー機能(4.2参照)を有効化している時に衝撃が検出されると、緊急録画が自動的に始まります。
2. 緊急録画が新規ファイルとして作成され、通常の録画により上書きされないように保護されます。緊急録画ファイルがいっぱいになると、「緊急録画がいっぱいです」という警告メッセージが画面に表示されます。新しい緊急録画ファイルが作成されると一番古い緊急録画ファイルが自動的に削除されます。

3.1.3 録画面面



番号	項目	説明
1	音声録音	音声録音がオフの時に表示します
2	録画時間	ファイルの録画経過時間
3	日付と時間	現在の日時
4	ガイドアイコン (メニュー)	◀ボタンを押してメインメニューに切り替えます
5	ガイドアイコン (再生)	▶ボタンを押して、再生モードに切り替えます
6	解像度	現在のビデオの解像度
7	バッテリー ステータス	バッテリーの状態
8	ガイドアイコン (静止画)	ビデオ録画中、▼ボタンを押して静止画を撮影します
9	ガイドアイコン (緊急録画)	OKボタンを押して手動で緊急録画を開始します

3.2 ファイル再生

1. 録画中、▲ボタンを押します。
2. ▲/▼ボタンを押して次または前のファイルを選択し、OKボタンを押します。

緊急録画ファイルは、ファイル名の「EMER」で識別できます。



3.2.1 再生画面

ビデオ再生画面



画像再生画面



番号	項目	説明
1	ガイドアイコン (戻る)	◀ボタンを押してファイル選択の表示に戻ります
2	ガイドアイコン (前)	▶ボタンを押して前のビデオ/静止画を表示します
3	ガイドアイコン (次)	▶▶ボタンを押して次のビデオ/静止画を表示します
4	ガイドアイコン (一時停止)	⏸ボタンを押してビデオの再生を一時停止します
5	再生時間	経過時間/ファイルの録画時間
6	バッテリー ステータス	バッテリーの状態
7	ファイル名	ビデオ/静止画のファイル名

3.2.2 ファイルの削除

次のようにファイルを削除します。

1. 録画中、⏮️ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. ▲/▼ボタンを押して【ファイル削除】を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲/▼ボタンを押して【1ファイル削除】または【すべて削除】を選択し、OKボタンを押します。
4. 【1ファイル削除】を選択した時は、▲/▼ボタンを押して削除したいファイルを選択し、OKボタンを押し、【はい】または【いいえ】を選択して削除します。
5. 【すべて削除】を選択した時は、▲/▼ボタンを押してカテゴリを選択し、OKボタンを押し、【はい】または【いいえ】を選択して削除します。



注意:

1. 削除されたファイルは復元できません。必要なファイルは必ずバックアップしてください。
2. 緊急録画ファイルはこの手順では削除できません。メモリーカードをコンピューターに挿入して削除するか、メモリーカードをフォーマットしてください。

4 メインメニュー

4.1 メニューの使用

メインメニュー画面から、ビデオ録画や他の機能を設定できます。



1. 録画中、**↶**ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. **▲▼**ボタンを押してメニュー項目を選択し、**OK**ボタンを押します。
3. **▲▼**ボタンを押して希望する設定を行い、**OK**ボタンを押して確定します。
4. **↶**ボタンを押してメニューを終了し、録画モードに戻ります。

4.2 メニュー項目

メニュー項目と設定内容については、次の表をご参照ください。

メニュー項目	説明	設定内容
日時	日付と時間を設定します。	▲/▼ボタンを押して数値を調整し、OKボタンを押して項目を切り替え、確定します。
解像度	ビデオの解像度を設定します。	1080P 30fps 720P 60fps
明るさ	露出補正の設定。	▲/▼ボタンを押して、露出値を設定します。 -2 から +2 に調整することができます。
長時間運転アラート	有効にすると、運転1時間後、及びその後30分ごとにアラームを鳴らします。	オン / オフ
モニターオフ	ビデオ録画が開始した際、自動的にLCDモニターをオフにする時間の長さを設定します。	オン / 30秒 / 3分 / オフ
音声録音	ビデオの音声録音を有効/無効にします。	オン / オフ
音量	操作音量、ビデオの再生音量を調整します。	0~10

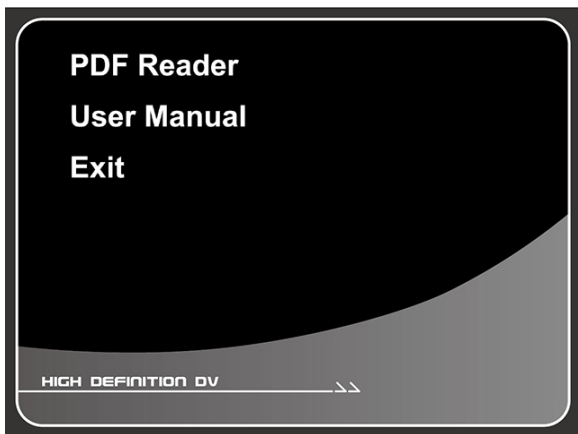
メニュー項目	説明	設定内容
録画ファイル単位	設定した長さのファイルで録画を分割して記録します。	3分 / 5分
動体検知	動体検知を有効/無効にします。この機能を有効にしている時、自動電源オフ後、駐車中に本機レンズの前でなんらかの動きが検知された時に自動的に録画を開始します。 (バッテリー作動時に限ります)	オフ / オン
Gセンサー	Gセンサーの有効/無効と感度を設定します。この機能を有効にしている時に衝撃を検知すると、自動的に緊急録画を開始します。	高感度 / 標準感度 / 低感度 / オフ
言語	画面の表示言語を設定します。	English / 繁體中文 / 日本語 / 한국어
フリッカレス	周波数を設定して、蛍光灯などのちらつきを軽減します。	50Hz / 60Hz

メニュー項目	説明	設定内容
ファイル削除	ファイルを削除します。 注意: 削除したファイルは復旧することができません。 緊急録画ファイルはこの手順では削除できません。メモリーカードをコンピューターに挿入して削除するか、メモリーカードをフォーマットしてください。	1ファイル削除 / すべて削除
SDカード初期化	メモリーカードを初期化（フォーマット）します。 注意: フォーマットすると、メモリーカードのすべての内容が削除され、復旧することはできません。	はい / いいえ
設定初期化	すべての設定を工場出荷状態にリセットします。	はい / いいえ
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンを示します。	

5 ソフトウェアのインストール

1. 付属のCD ROMをCDドライブにセットします。
2. CDが自動的に実行しない場合は、Windowsファイルマネージャーを用いてCD内のInstall_CD.exeファイルを実行します。

次の画面が表示されます。



3. 希望の[メニュー]項目を押し、画面の指示に従ってインストール処理を開始します。

6 仕様

項目	説明
イメージセンサー	1/2.7インチCMOSセンサー
有効ピクセル数	1920 (H) × 1080 (V)
ストレージメディア	最大32GBクラス6以上のmicro SDHCをサポート
LCDモニター	2.4インチLCDカラーTFT (112Kピクセル)
レンズ	広角固定フォーカスレンズ 絞り: Up to F1.9 ; f=3.8mm
フォーカス範囲	1.5m ~ 無限大
ムービークリップ	解像度 : FHD - 1080p (1920 × 1080) , 30fps HD - 720p (1280 × 720) , 60fps
	形式: MOV
静止画 (写真)	解像度 : 2M (1920 × 1080)
	形式: DCF (JPEG, Exif: 2.2)
シャッター	電子シャッター 自動: 1/2 ~ 1/2000秒
Gセンサー	3軸Gフォースセンサー
ISO	自動
ホワイトバランス	自動

項目	説明
マイク	あり
スピーカー	あり
インターフェイス	ミニUSB、ミニCタイプHDMI
バッテリー	内蔵470mAh充電可能リチウムポリマー
動作温度	0°C ~ 60°C
動作湿度	20% ~ 70% RH
保管温度	-20°C ~ 70°C
寸法	65 × 70 × 27.6mm
重量	約76g

※ 本機および付属品は仕様の変更を行う場合があります。

